

20 年 月 日

一、
8 月 17 日 付け 空き家の記事を読んでの感想

吉府小学校

屋敷有彩

20 × 20

空	ガ	私	の	ス	の	に	入	ひ	家	ま	私	う	空	き	家	は	空
き	空	の	町	ボ	お	も	た	こ	と	ま	の	だ	き	き	家	、	き
家	き	の	内	多	年	若	た	し	書	レ	町	い	い	一	は	く	く
か	家	の	の	少	寄	若	た	・	・	な	内	い	い	人	た	て	く
そ	と	班	均	い	り	代	た	亡	た	せ	の	い	い	暮	に	く	て
の	う	で	平	と	が	代	た	ら	・	世	理	い	い	暮	に	こ	て
ま	こと	計	均	書	亡	県	た	れ	人	暮	由	い	い	ら	と	わ	く
ま	に	算	は	い	な	外	後	た	暮	ら	を	い	い	し	新	か	て
に	な	し	は	て	。	に	に	た	の	ら	母	い	い	ん	聞	に	わ
な	り	して	件	あ	。	1	ま	た	人	ら	こ	い	い	ん	い	。	く
る	ま	て	1	り	。	件	さ	に	が	し	ん	い	い	で	み	。	く
と	ま	と	件	と	。	件	が	空	人	ん	聞	い	い	う	よ	。	て
放	し	と	件	空	。	件	空	き	が	に	い	い	い	と	う	。	て
火	た	と	件	き	。	件	だ	家	デ	聞	い	い	い	と	思	。	て
さ	た	と	件	だ	。	件	だ	に	イ	い	い	い	い	ビ	ま	。	て
水	た	と	件	け	。	件	け	に	サ	い	い	い	い	ス	。	。	。
た	た	と	件	け	。	件	け	に	。	。	。	。	。	。	。	。	。
り	た	と	件	け	。	件	け	に	。	。	。	。	。	。	。	。	。

20 年 月 日

20 × 20

県内 増え続ける空き家

倒壊・防災問題が深刻化

県内で空き家の増加が止まらない。2013年は過去最多の5万6200戸に達し、8戸に1戸が空き家という状況だ。ここ10年間だけで2割増となる9000戸近く増えた。倒壊の恐れなどがある物件は少なくとも558戸に上り、防災や防犯上の問題が深刻化。県や市町村が調査や撤去などの対策に乗り出す一方、民間ではまちづくりに活用する取り組みが進む。空き家をめぐる現状と課題に迫った。

黒部市生地芦崎の海沿いにある住宅街。空き地の奥にある高さ2mほどの切れの山を見つめながら、町内会長の塚田健さん(64)=生地吉田=は「いつ壊れてもおかしくないと思っていた」とつぶやいた。

放置される残骸

切れきは、昨年6月に倒壊した空き家の残骸だ。50年余り家主はおらず、地元では以前から危険性を指摘する声があった。だが、市は手を出せなかった。

「所有者不明」のためだ。市の担当者は、所有者とされる人物に手紙を出したが、届かずに戻ってきた。

住民らの不安は的中し、空き家は跡形もなくなつぶされた。誰も巻き込まれず、けが人が出なかつたのが幸いだった。市は崩壊した空き家を解体したものの、切れきは敷地内に放置したまま。すでに危険性はなく、これ以上、税金を投入できないと判断したという。今春、自治会が費用を負担し、住民らで一部を撤去したが、全ては片付けきれていなかった。塚田さんは「この家は他人の物だ。自治会の予算にも限りがあり、行政に頼るしかないのだが…」とこぼす。

空き家の倒壊は昨年7月ごろ、高岡市戸出町でも発生していた。このケースは所有者が分かっている。市が連絡を取って切れきの撤去を促しているが、いまだに手つかずのままだ。

問題は倒壊だけにとどまらない。昨年11月の魚津市の火災では、被災23棟のうち7棟が空き家で、延焼の一因になったと指摘されている。

税金もネットに

空き家は全国で増え続け、富山も例外ではない。総務省の統計によると、1963年は3200戸だったが、2013年には17倍の5万

撤去に向け条例や助成

6200戸に膨れ上がった。空き家率は、全国より低いものの12.8%。8戸に1戸の割合だ。

県内12市町村が独自に行なった目視による調査では、倒壊の恐れなどがある空き家は558戸確認された。調査中の入善町、危険性の高い空き家について調べていない氷見市、結果を公表しない氷見市の実態を反映させれば、総数は大きくなる。

背景には少子高齢化や核家族化の進展がある。県などによる若い世代が県外に流出し、1人暮らしのお年寄りが亡くなった後に空き家になるケースが多い。さらに建物を壊して更地にすると、広さ200平方㍍以下の場合、固定資産税の特例措置が受けられず、最大6倍に跳ね上がる場合、撤去が進まない理由の一つとなっている。

進みぬバンク利用

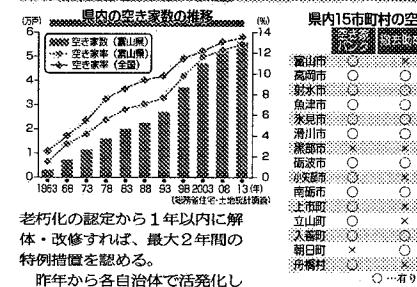
県や市町村も対策に本腰を入れている。黒部市と朝日町を除く13市町村は、空き家を活用しようと登録制度の「空き家バンク」を設けた。現時点の登録物件は132件。だが、07年の制度開始から売買と賃貸合わせて38件の契約に結び付いた魚津市はまれなケースで、数件から十数件までの契約とどまっている自治体が多い。

バンクの利用が伸びない理由について、県西部のある自治体の担当者は「利用者からすれば、民間の方が売買のスピード感があるように思うのかもしれない」と推測する。

撤去に関しては、県が空き家の危険性を4段階に分けた統一のガイドラインをまとめ、市町村に伝えた。9市町は撤去する際の助成制度を用意した。このほか立山町は15年度から、老朽化した空き家については、固定資産税を軽減する特例措置を適用しないことにした。ただし、



倒壊した空き家の残骸を見つめる塚田さん(左)
=黒部市生地芦崎



老朽化の認定から1年内に解体・改修すれば、最大2年間の特例措置を認める。

昨年から自治体で活発化しているのが、空き家条例の制定だ。倒壊の恐れなどがある危険な空き家の所有者に撤去を働き掛け、最終手段として行政代執行で解体する。昨年の高岡、砺波の両市で焼き、こしは舟橋村と南砺市で条例を施行した。射水市は10月1日に施行する。

県によると、行政代執行に至った例はまだない。解体の費用は所有者に請求できるものの、特定が困難なケースがあるためだ。砺波市は「費用が回収できないものは、税金の使い道として住民に説明する事が難しい」(総務課)と苦しい胸の内を明かす。

新法提出目指す

こうした動きを受けて自民党は秋の臨時国会に向け、空き家対策新法案の提出を目指している。市町村に空き家の立ち入り調査の権限を与え、所有者を確

日曜特番 白岡ま

若者向けにシェアハウス

空き家を活用して地域の魅力につなげよう。そんな動きが県内で広がりつつある。先陣を切るのが、高岡市の民間団体「高岡まちっこプロジェクト」だ。古い町並みが残る市中心部の空き家に若者を集めようと、シェアハウスのマッチングなどを展開している。

プロジェクトは、フジ創ホーム社長の荒井里江さん(40)や不動産鑑定士らが2012年から始めた。市の中心部は郊外に比べて地価も安く、1000戸を超える空き家がある。荒井さんは「若者

を、プロジェクトに協力する学生と共に模索。土蔵や中庭などに特長があり、体験型施設として活用することに決めた。

行政も後押しし、市初の空き家再生支援モデル事業として改修費を補助した。施設はことし5月に完成し、地域の会合や宿泊などに利用されている。取り組みを支援してきた東京工業大学院の加納亮介さん(24)が、住み込みで管理人を務めている。

荒井さんらは現在、大型の空き家を生かすプロジェクトも進めしており、「空き家の活用には、所有者の意識改革が必要。楽しむながら活動を続けてたい」と話す。

砺波市では空き家バンクに登録していた庄東地区の傾城にある古民家を、富山型ディサービス施設の所長を務める宮崎弘美さん(58)=高岡市福岡町西川原島=が買い取った。「庄東の家」と名付け、お年寄りや若者らの居場所にしようと準備を進めている。

近所には自ら運営する富山型ディサービス施設があるほか、友人が8月中旬に別の空き家を改装してカフェをオープンさせる見通しだ。宮崎さんは「古民家の良さを生かし、落ち着ける空間にしたい」と話している。



宮崎さん(中央)が準備を進める「庄東の家」=砺波市頬成

記者の直言

富山県は持つ家賃が高額で、一方、65歳以上の割合は全国10位。一方で空き家が非常に多く、これが原因で空き家がさらに増えてしまう。一方で、空き家が少ないところでは、行政が地域の情報発信を深め、撤去に難渋な問題は、撤去も含めた適正化が容易に推測できる。しかし、経済的な事情で撤去に躊躇な方がいるのも事実。解消策は簡単ではない。空き家の整理をめぐる問題は、撤去も含めた適正化が柱となる。私有財産といふ権利を尊重する立場から、現状を一気に打破するよりも、少しずついい感じで、緩慢に進めていくことが必要だ。

一方で、65歳以上の割合は全国10位。一方で空き家が非常に多く、これが原因で空き家がさらに増えてしまう。一方で、空き家が少ないところでは、行政が地域の情報発信を深め、撤去に難渋な問題は、撤去も含めた適正化が容易に推測できる。しかし、経済的な事情で撤去に躊躇な方がいるのも事実。解消策は簡単ではない。空き家の整理をめぐる問題は、撤去も含めた適正化が柱となる。私有財産といふ権利を尊重する立場から、現状を一気に打破するよりも、少しずついい感じで、緩慢に進めていくことが必要だ。

住民と行政の協力必要